

こんにちは 松坂みち子 です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.285 2016.8.17 連絡先 402-1622 >



終戦の日 一緒に平和について考えましょう

8月15日、71回目の終戦の日。森下、姫田両市議、参院選でお世話になった坂口多美子さんとともに、街頭宣伝を行いました。

アジア・太平洋戦争は日本が侵略をして、アジアで2000万人以上、日本で310万が犠牲となりました。その反省の上に日本国憲法があり、9条があります。日本が71年間「戦争しない国」を貫いてこられたのはこの憲法9条があったからこそです。いま政権がその歴史を覆そうとしているとき、平和について今一度考え、一緒に平和を、憲法を守りましょう、と訴えました。



中島のエバグリーン前で姫田議員が車の上から訴え。隣は坂口さん。車の前に、森下市議（右）と私松坂。

平和の鐘 打鐘会

8月15日 今年も平和の鐘・打鐘会に行きました。

岡山の時鐘堂は、8月15日に平和の鐘をつく、その発祥の地となった場所です。しかもこの鐘は戦時中の供出を免れた鐘です。平和を願って打つにはふさわしい鐘を、平和委員会のメンバーとともにつけてきました。

みち子のひとりごと 東京で

この日一日で歩いたのは1万2千歩。歩く町、東京でした。

うか。この日一日で歩いたのは1万2千歩。歩く町、東京でした。



東京に行ってきました。お盆で東京から人は減っているはずなのに、人々・・・。そこで気づいたのは、電車に乗るときのリュックの持ち方です。電車を待っている時は普通に後ろにしゃぶっているのですが、乗るときには前に回して赤ちゃんを抱っこしているような持ち方に変えます。混んだ電車では背中の荷物は場所をとって周りに迷惑をかけることや、背中では何をされても見えず不用心なことを考えれば理に適っていません。ただ、それをしていいるのはほとんど若い女性だったのはなぜ？

末娘と行ったのは、スライツリー。お上りさんそのままに高いところに行こうとしたのですが、夕方5時の時点で8時から上るための整理券を配っている状態。あきらめて下から見上げるだけで終わりました。それでも並んでいる人は多く、東京の夜は長いと

核廃絶の思い 兄と「特定」の姉妹から次世代へ――一方で安倍首相は…

8月10日付朝日新聞に、次のような記事がありました。

長崎原爆の悲惨さを伝えてきた写真の1枚「黒焦げの少年」が、長崎市の姉妹の兄である可能性があることがわかったということです。姉妹は昨年、長崎市で開かれた原爆写真展で「黒焦げの少年」を見て、お兄さんと直感したといいます。優しかった兄の面影があり思わずなでたと。法医学者による鑑定で、目や鼻の特徴などから「姉妹の兄と同一人物の可能性があるとされました。その報道を見た長崎の女子高生が「70年たってお兄さんとわかるなんて、なんて強い思いだ」と驚きました。この高校生は、核兵器廃絶の署名に取り組み、今月中旬にはスイスの国連欧州本部に届けスピーチをします。オバマ米大統領の広島訪問にも立ち会った高校生は、歴史的場面を間近で見たものとしても、「黒焦げの少年はずっとこの姿で核廃絶を訴えている」「被爆者の思いを受け継いでいかないと」と決意を新たにしました。

一方、毎日新聞の16日配信によると、米ワシントンポスト紙が、オバマ大統領が検討している核兵器の先制不使用政策について、安倍首相が反対の意向を伝えたと報じています。先制不使用政策とは、核保有国が他国から核攻撃を受ける前に先に核兵器を使わないこと。核兵器を使用するハードルを高くし、核軍縮への理念的な一歩となる政策です。核兵器の廃絶を目指す日本が、皮肉なことにオバマ政権が掲げる「核兵器のない世界」の実現をはばんでいるという指摘もあり、被爆国の首相としての態度が問われます。

「あたりふしい憲法のはなし」④

この前文には、だれがこの憲法をついたかということや、どんな考えでこの憲法の規則ができているかということなどが記されています。この前文というものは、二つのはたらきをするのです。その一つは、みなさんが憲法を読んで、その意味を知ろうとするときに、手引きになることです。つまりこんどの憲法は、この前文に記されたような考えからできたものだから、前文にある考えと、ちがったふうにかんがえてはならないということです。もう一つのはたらきは、これからさき、この憲法に記

された考え方と、ちがうようなかえかたをしてはならないということです。それなら、この前文の考えというのはなんでしょう。いちばん大事な考えが三つあります。それは、「民主主義」と「国際平和主義」と「主権在民主義」です。「主義」という言葉をつかうと、なんだかむずかしく聞こえますけれども、少しもむずかしく考えることはありません。主義というのは、正しいと思う、もののやりかたのことです。それでみなさんは、この三つのことを知らなければなりません。まず、「民主主義」からおはなししましょう。

アベノミクスは大失敗

大門みきし参議院議員を迎えて 日本共産党を語るつどい

とき 8月28日(日)1時30分開会
ところ 勤労者総合センター6階



大門みきし参議院議員が「アベノミクスの大失敗から国民の暮らしをどう守っていくか」など、みなさんと語り合う「つどい」です。ぜひお誘いあわせてご参加ください。